

## 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

### 1 施設の概要等

施設名	広島県立総合体育館		
所在地	広島市中区基町4番1号		
設置目的	体育その他一般の利用に供する		
施設・設備	大アリーナ、小アリーナ、武道場、弓道場、健康・体力サポートセンター、フィットネスプラザ、会議室、スポーツ情報センター、駐車場 等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(公財) 広島県教育事業団(H25.4.1～)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財) 広島県教育事業団

### 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R4	2,000,000人	949,884人	460,952人
R3		2,000,000人	488,932人	194,881人	△1,511,068人 (24.4%)
R2		2,000,000人	294,051人	△1,396,912人	△1,705,949人 (14.7%)
R1		2,000,000人	1,690,963人	△264,628人	△309,037人 (84.5%)
	3期平均 H26～H30	2,230,000人	1,955,591人	△64,727人	△274,409人 (87.7%)
	2期平均 H21～H25	1,940,000人	2,020,318人	380,802人	80,318人 (104.1%)
	1期平均 H18～H20	1,993,000人	1,639,516人	197,786人	△353,484人 (82.3%)
	H17(導入前)	—	1,441,730人	—	—
増減理由	<p>○ 令和4年度の利用者は、令和3年度と比較して460,952人増の949,884人となった。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、閉館時間の変更(～20時)や、個人利用の制限等があったのに対し、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限等が緩和された。</p> <p>○ アマチュアスポーツでは、スペシャルオリンピックスが3日間で約9,000人、全日本実業団柔道団体対抗大会が2日間で約5,200人、国体中国ブロック大会が8日間で約7,160人、日本ハンドボールリーグが1日で約3,500人と全国大会等が数多く開催された。また、毎年開催のVプレミアリーグも10月と1月に開催され、合わせて約20,900人の集客があった。</p> <p>○ アマチュアスポーツ以外では、コンサートやアイスショー等の有料興行が全23件で約407,700人、展示会・集会等が全9件で約37,820人の集客があった。</p>				

### 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	自主事業開催時のアンケートの実施	行事参加者 約 1,500 人
	ボランティアスタッフのアンケート調査	事業参加者 20 人
	利用者意見箱の設置	施設利用者 13 件
	利用者アンケートの実施	施設利用者 148 件
	モニターへのアンケートの実施	公募モニター 20 人
	競技団体・マスコミ等と意見交換(運営協議会)	利用団体代表者 10 人
	【主な意見】	【その対応状況】
弓道場射場内の可動式鏡のコロの調子が悪く、スムーズに動かさない。無理やり動かそうとしたと思われるキズ・汚れが床についているので対応してほしい。(11/24)	キャスター部分のビスの調整を行った。床のキズ・汚れについては、清掃の際に可能な限り回復できるよう対応した。(12/1)	
弓道場の場の雨どいに穴が空いているので修理してほしい。(2/25)	コーキング剤で穴を塞ぎ対応した。(3/1)	

### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報(必要随時)	○	従事職員の異動等
管理運営会議(12回・現地)	<b>【特記事項等】</b> 利用者の意見を取り入れた整備、改善		
現地調査(5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、3月に実施)	<b>【指定管理者の意見】</b> 施設設備の状況を把握し、修繕の優先度を提案。 <b>【県の対応】</b> 施設設備の計画的な修繕の実施		

### 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度				年度			
	年度	金額	対前年度増減		年度	金額	対前年度増減	
県委託料 (決算額)	4期	R4	233,003	△64,985	4期	R4	404,297	149,622
		R3	297,988	△133,575		R3	254,675	132,153
		R2	431,563	278,017		R2	122,522	△296,929
		R1	153,546	18,685		R1	419,451	△49,452
	3期平均 H26～H30	134,861	15,085	3期平均 H26～H30	468,903	22,661		
	2期平均 H21～H25	119,776	△27,350	2期平均 H21～H25	446,242	12,065		
	1期平均 H18～H20	147,126	△265,212	1期平均 H18～H20	434,177	45,205		
	H17(導入前)	412,338	—	H17(導入前)	388,972	—		

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	○主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	233,003	297,988	△64,985	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う県からの委託料の減
		料金収入	404,297	254,675	149,622	利用料金制(※1) コンサート、展示会・集会等の大規模イベント開催による料金収入の増
		その他収入	54,231	31,826	22,405	県の利用料金減免負担及び工事に伴う営業補償の増
		計(A)	691,531	584,489	107,042	
	支 出	人件費	64,792	68,690	△3,898	臨時職員の減
		光熱水費	169,690	106,277	63,413	燃料価格高騰による増
		設備等保守点検費	138,257	137,098	1,159	駐車場の利用が増えたことによる維持管理負担金の増
		清掃・警備費等	193,122	193,176	△54	
		施設維持修繕費	65,738	40,875	24,863	照明器具のLED化等の修繕費の増
		事務局費	22,583	23,164	△581	
		その他	37,460	33,372	4,088	借入金返済による増
		計(B)	691,642	602,652	88,990	
		収支①(A-B)	△111	△18,163	18,052	
	自主事業 (※2)	収 入(C)	34,060	18,945	15,115	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自主事業の制限がなかったため
支 出(D)		37,153	37,056	97		
収支②(C-D)		△3,093	△18,111	15,018		
合計収支(①+②)		△3,204	△36,274	33,070		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大防止策を継続しながら、利用者や職員の安全性を確保しつつ、業務運営に努めた。</p> <p>令和4年6月の「全国ろうあ者大会 in ひろしま」では秋篠宮皇嗣同妃両殿下、同年11月の「スペシャルオリンピックス日本2022 広島」では高円宮妃殿下をご案内する等、全面的に協力体制を取り、大会は成功裏に終えることができた。</p> <p>また、自主事業では、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、ほぼ計画通りの内容で参加者を募り実施することができた。</p>	<p>施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。</p>
	○業務の実施による、県民サービスの向上	<p>令和5年5月のG7広島サミット開催に向けた準備期間中に、県発注で全館共用部のLED照明工事を実施するとともに、県が実施するトイレの洋式化工事の日程調整や外務省等の視察対応を行った。</p> <p>館内にデジタルサイネージを新規に設置し、施設の案内や自主事業、健康づくりに関する情報を常に発信している。</p> <p>また、令和4年4月からフィットネスプラザの個人利用においてQRコード決済(JPQR)を導入し、令和5年2月から駐車場精算機においてもキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性を図った。</p>	<p>G7広島サミットに向けて、照明器具のLED化やトイレの洋式化・温水洗浄便座の設置に係る工事の調整を円滑に実施した。</p> <p>また、デジタルサイネージやキャッシュレス決済に対応した券売機・精算機を導入することで、情報発信の強化や利用者の利便性向上を図っている。</p>
	○業務の実施による、施設の利用促進	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限等が緩和したことで、前年度よりもコンサート等の大規模イベントの件数が増加し、利用者数は460,952人増の949,884人となった。</p>	<p>令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、施設の閉館や利用時間の制限はなかったため、令和3年度に比べ、利用者数は増加した。</p>
	○施設の維持管理	<p>維持管理については、毎月の修繕報告を行うとともに、小規模修繕工事については、緊急性が高いものから随時行うよう努めた。</p>	<p>施設全体の劣化箇所を把握し、緊急度合いにより優先度をつけ、計画的に修繕を実施している。</p>
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	<p>館長または館長補佐が交代勤務で駐在し、協力企業も含めた全職員が引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止を念頭に置き、危機事案等に迅速に対応できる体制を維持する管理運営を行った。</p>	<p>職員の配置、緊急時の連絡体制整備は、仕様書及び事業説明書に沿ってなされており、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応では、臨機応変に適切な対応をしている。</p>
	○効率的な業務運営	<p>省エネルギー推進委員会を組織し、年2回の省エネパトロールを行うなど、エネルギー使用の合理化に努めた。</p>	<p>効率的な営業運営を行っている。</p>
	○収支の適正	<p>収入については、行動制限を伴う県の施策がなかったため前年より収入増となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための大規模イベント等のキャンセルが相次ぎ、予定していた収入が見込めず、大変厳しい状況が続いた。</p> <p>支出については、燃料価格高騰の影響で、電気料金、ガス料金が大幅に上昇したことで資金繰りに悪影響を与えた。</p>	<p>大規模イベント等のキャンセルや燃料価格高騰の影響により、財政的に厳しい状況が続いている。</p>

<p>総 括</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限等が緩和したことにより、利用者数は回復傾向にある。          新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことから、利用者数の目標達成に向けて、引き続き施設の利用促進及び収支の改善に努める。</p>	<p>施設の維持管理について、適切に行われている。          利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に目標値を下回っているが、キャッシュレス決済を導入するなど利用者の利便性向上を図っている。          新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。</p>
------------	---	---

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4期指定管理期間の最終年度となる令和5年度は、引き続き、利用者が安全・安心にスポーツを実施できる環境づくりに努めるとともに、利用者数の回復に全力で取り組む。</li> <li>○ 当館が本年、開館30周年を迎えるにあたり、記念事業を計画しており、県民の皆様へ周知していく。</li> </ul>	<p>利用者が安心・安全にスポーツ等を実施できる環境づくりに取り組むことで、利用者の維持・回復に努める。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>老朽化に伴う施設・設備の修繕を最大限に行うとともに、安全・信頼・快適の「深化」とにぎわいの拠点づくりを基本方針とした管理運営体制を目指す。</p>	<p>施設の保全並びに機能維持と利用者の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図るため、利用者のニーズや安全性等による優先度に応じて計画的に施設設備の改修を実施する。</p>